

流域広報レポート

平成26年7月8日(火)～7月13日(日)

『語り継ぐ大和川大水害の記憶』パネル展を行いました！

平成26年7月8日(火)から7月13日(日)の間、大和川河川事務所と奈良県と共同でパネル展を行いました。

このパネル展は、平成24年から行っているもので、1日約2千人以上の方が来館される奈良県立図書情報館の玄関ホールをお借りし、当事務所では、「語り継ぐ大和川大水害の記憶」をテーマとした各種パネルを50枚展示しました。

また、パネルをご覧頂いている方から当時の話をお聞きすることができました。

パネル展の様子



玄関ホール入口



多くの来館者の方に展示パネルを見ていただきました

来館者に当時の話などを聞いてみました

昭和57年8月洪水の記憶

王寺町 王寺駅付近の洪水状況

近畿地方整備局
大和川河川事務所



昭和57年8月



平成24年9月現在

当時、国鉄(現在はJR)も完全に麻痺してしまい、駅の中は大混乱していた。

60代 男性

昭和57年8月洪水の記憶

王寺町 王寺駅役場付近の洪水状況

近畿地方整備局
大和川河川事務所



昭和57年8月



平成24年7月現在

当時の写真を見ると、炊き出しをしたことを思い出します。

50代 夫婦

昭和57年8月洪水の記憶

大和郡山市 穂貝開地の洪水状況(登壇:底井川5.0m付近)

近畿地方整備局
大和川河川事務所



当時、私の知人が陸の孤島となった建物に取り残された。

最近では河川の整備が進み、安全になったが、災害の怖さも忘れかけられている。

それを考えれば、このパネル展示は大変良い場だと思う。

70代 男性

大和川河川事務所では、今後とも、大水害の記憶を風化させることなく将来に伝えていくとともに、防災意識の向上に努めてまいります。



【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 大和川河川事務所 調査課

〒583-0001 大阪府藤井寺市川北3-8-33 TEL 072-971-1381